



聖和学院生のメッセージをお届けします。学院のよさが伝われば嬉しく思います。

——2023年度在校生



Seiwa Gakuin is a place of
gentleness
diligence
and love

We hope to achieve a peaceful world
through spiritual education.

温順 勤勉 愛

私たちは、仲間と協働するとき、他者と心を合わせ円滑に成し遂げるために、「温順」「勤勉」「愛」が大切だと信じています。

——人と人との縁を親密に紡ぐから——

家族のような学院です。生徒と先生が、6学年すべての在校生の名前を知っています。アットホームな雰囲気には満ちています。仲間や先生に自分の想いを素直に言えるので、伸び伸びと過ごしています。



「できることなら、卒業せずに学院に留まりたい。それが本音です。後輩やクラスメートと別れるのが名残惜しいからです。6年間、ずっとずっと過ごした同じ友人たちと別れるのは、家族が離れ離れになるような切ない気持ちでいっぱいです。」

——2024年3月3日 卒業生

「先輩たちを祝福したいけど、寂しくて涙が溢れます。」

——2024年3月3日 在校生



当冊子は主に私たち高校生を中心に編集しました。協力いただいた先生方に感謝しています。





Our alumna's message 01

22歳の私、 職業ではなく「在り方」を

一般的に22歳は就職する年齢です。でも、私たちは、「弁護士」「医師」のような職業観点だけで、未来を描いているわけではありません。特定の職業以前に、「私は、どのように社会に貢献したいのか」と自問しながら、22歳の「在り方」を定めるべきだと考えています。そして、22歳時、「何ができるのか」を見極めて、自分の希望・目標を定めます。〔2023年度 高3生〕

Our schoolmate's message 02

22歳の私、 その先の大志に向かって

未来は、自らホテルを築いて経営したいです。「リゾート」「ビジネス」(等)、ホテルのタイプは問わず、日本のおもてなしの心をもって世界の人々を歓迎したいからです。世界中のゲストに寛いでいただく宿を創るために、22歳のころには、英語力を磨くのはもちろん、各地の文化や習慣を学び、多彩な経験を積み重ねるつもりです。〔2023年度 高2生〕

22歳の夢

We want our students to take their dreams into adulthood

着実

(中学入学であれば)中1時代から、いろいろな機会^{あそび}で、進路について想い描きます。個々の色とりどりの夢を尊重する学院です。成長する過程に添い、一步一步丁寧^{ひか}に歩んでいるので、自然と大学受験に向けた心構えが整いました。

先生方は、個々の望みを聞き留め、強みを活かすよう助言してください。私たちの希望が否定されることはありませんが、「あなたは、これも向いているのでは?」「もっと、できるはず」とプラスのアドバイスには励まされています。自分の可能性を拓けるからです。

開拓



■ 過去3年(2022~24年春) 著名大学現役合格実績(在籍72名)

東京外国語大学 1名	立教大学 5名	神奈川大学 5名
横浜市立大学 2名	中央大学 1名	東海大学 7名
早稲田大学 6名	法政大学 2名	東京農業大学 3名
国際基督教大学 1名	学習院大学 2名	東邦大学 1名
上智大学 4名	明治学院大学 4名	日本女子大学 6名
同志社大学 2名	國學院大學 2名	フェリス学院大学 3名
立命館大学 5名	日本大学 2名	県立保健福祉大学 1名
関西学院大学 2名	東洋大学 2名	他多数
明治大学 3名	駒澤大学 1名	
青山学院大学 2名	専修大学 1名	

首都圏中高一貫校「学力伸長度」ランキング2年連続総合第2位(県内1位)

※レバレッジ(中学入試の難易度に対して大学受験に強い)度ランキング「週刊ダイヤモンド合併特大号」(2023/4/15・12・2024/4/6・13)掲載

進路実績詳細





全校生が仲睦まじい。 姉妹のよう。

上級生は、休み時間に私たち下級生の教室を訪ねて笑顔で話しかけてくれます。6学年が一体です。和やかに過ごしています。

先輩方から親しくいろいろ助言をいただきました。後輩たちと、楽しく交流しました。普通の毎日の生活こそが、よき想い出です。

私は、友人と話すとき、尻込みしていました。数々の行事を通じて。徐々に、積極的にチームに関わる態度が芽生えました。コミュニケーション能力が高まり、学校説明会に来ていただいた受験生の皆さんを案内できました。

先生方は、私たち自身ができるところまでは傍らで応援してくれます。できないところは、手をさしのべていただいています。

幸せを願う

We teach our students to love God,
themselves and others.



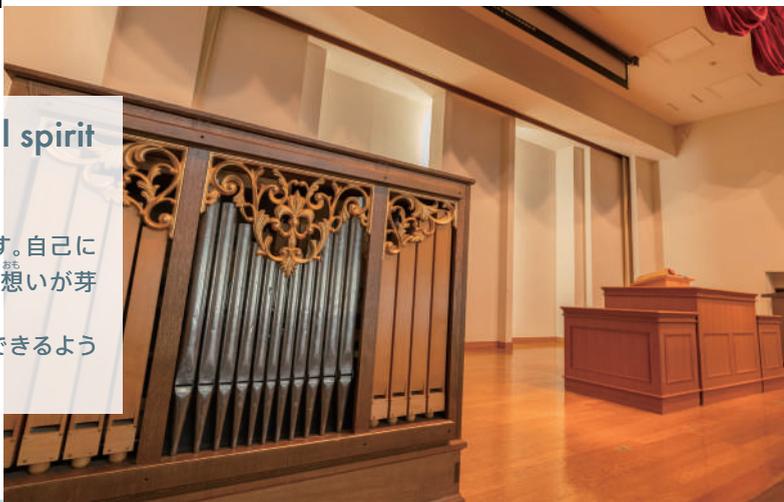
私は、壇上でオルガンを演奏していました。チャペルの全員を見渡すと、皆と一緒につながり一体となっているのです。素敵な経験です。

礼拝の時間は、意識を集中します。厳粛な空間で、自分を見つめ直します。牧師のお話に耳を澄まします。自身の心の内を整理する大切な時間です。

「隣人を愛する」と心掛けて、6年間、学院で自然体のまま生活していると、いつのまにか、愛に基づき、優しく行動できるようになっているのです。

Studying the Bible helps maintain a peaceful spirit and enables us to self-reflect.

聖書の授業では、聖書の言葉に基づき自ら考える場面が多いです。自己に問う経験を重ねて、自身を深く知ることができました。さまざまな想いが芽生えました。
私の胸中に、愛や優しさが膨らみました。その心に拠って行動できるようになりました。大切な成長に繋がったと信じています。



逗子のさわやかな海によく似合う

ネイビーを基調としたセーラー服。清楚な印象なので、みんなとても誇らしく着こなしています。ポイントは、腕章です。「愛の広がり」をイメージしたSEIWAの「S」と、Loveの「L」をデザインしたものです。

皆さんも、気に入っていただけるはずです。制服紹介



式典や学校行事でも、私たちの自主性に委ねられるので、新しいアイデアを次々と創造しています。



共創 Co-creation —— We strives to give the world something new

自分がやりたいことを声に出せば実現できます。——

防災減災プロジェクトに参画したとき、私は新聞を発行する企画を提案しました。先生や仲間が和やかに賛同してアシストしてくれたので、自分の願いが叶いました。

放送環境部は一般校の「放送部」と「園芸部」を合体させたチームでしょうか。NHK放送コンテストに出場しますが、日ごろは、キャンパスの花壇などを美しく手入れしています。私たち(2023年度高3生)が創部したのです!

——受験生の皆さん、ぜひ、仲間に加わってください。

誰もが、きっと、リーダーに

数々のリーダーシップを発揮するチャンスがつづくからです。温かい仲間に囲まれて、「一緒にやろうよ」と声をかけられて勇気が湧くからです。入学時は、想像していなかったのに、気がついたら部活のキャプテンを担っている。それが聖和の成長物語です。

Our students spend significant time together to form meaningful relationships with one another

一生懸命打ち込む仲間を、尊敬して、応援する文化が宿っています。独りで努める友人を「がんばれ」と見守ります。だから、何事でも、思い立ったら気後れなく思い切りチャレンジできます。



共想 Consideration —— Relationships start with introductions



受験前に説明会に参加しました。初対面の在校生の方が、朗らかに挨拶を投げかけていただきました。入学後、学院の生活は、「おはよう!」にはじまります。廊下ですれ違うたびに言葉を交わします。

挨拶習慣が染みわたっているので、逗子駅の売店の売り子さんにも挨拶してしまうほどです。素敵な学校だなと思います。

! JALのCA養成のマナー講座は、他の学校では得がたい経験だと思います。美しい礼儀作法を学びました。

毎日が楽しい!

受験生の皆さんも体感できます。

学院生の素顔に出会ってほしいです。守り継ぐ伝統に共感してほしいです。そのためにたくさんの映像を公開しています。

動画ギャラリー





Our alumna's message 03

あらゆるステージで 国際貢献できるはず

どこに行っても、当然のように英語で、人々と親密にコミュニケーションできるようになりたいです。多角的に事物を捉えられる人になって、国際社会に貢献したいです。外国で活躍するのも一案ですが、(例えば)日本に^{とど}どまり、子どもたちに「グローバル」を教えて、世界各地に優秀な人材を送り込む学校教諭であっても、間接的に国際社会に役立てると考えています。〔2023年度高3生〕

Our schoolmate's message 04

AI開発の先進国、 米国の大学へ向かいます

「AIが人間の職を奪う」と、まるで悪者のように論じられていますが、私は、AIは、人類の未来、親しい友人だと信じています。世界の平和と安全を守るAIを開発したいです。そのために、まず、18歳で、米国の大学へ進学するつもりです。22歳時は、きっと、(プログラムではなく)AIを動かすための高機能なハードウェアの設計に関わっているはずです。〔2023年度 高1生〕

We teach our students to use language
skillfully and with beauty.

聖和から世界へ



模擬国連 English Camp 2023年7月 於;湘南国際村

各国の大使役を担い、自国についての紹介プレゼンテーション。その後、各地域のグループが「地球温暖化」の解決策を提案。賛成か否か、各国の立場で投票を行いました。自分が担当する国は、どのように発展していくべきか、リサーチや発表を通じて熟考することで、異文化理解が深まりました。

私たちはネイティブの先生方と、終日、議論しました。英語力が格段と向上し、大いに自信がつけました。有意義な4日間でした。

〔2023年度高1生〕

英語は4技能をバランスよく学んでいます。一気に集中して訓練するのではなく、私たちのペースに添って、ひとつひとつ丁寧にステップアップしています。ネイティブの先生のレッスンではプレゼンテーションが多いです。「これから世界へ」という意識の高揚となりました。〔2023年度高3生〕

Women's Global Leadership PROJECT (WGLプロジェクト)

日本の伝統と文化に根ざした自己を確立し、異なる文化を持つ人々を愛容し共生するために、多彩なプログラム*を通じて学んでいます。

〔*バーチャル留学・イングリッシュキャンプ・スピーチコンテスト・ディスカッション〕



神奈川県唯一

高等学校「英語科」
国際教育は1987年から

私たち聖和学院生は、世界を知り、自分を見つめながら真の^{そつめい}聡明さを備えた人となるよう努めています。

創立者武藤功先生は英国のサッチャー女史と懇談しています





We introduce our students to the natural beauty in Zushi.



黒岩神奈川県知事と県民と「対話の広場」に、私たちも参加しました。知事との意見を交換しました。

——ブルーカーボン in三浦半島～脱炭素社会の実現に向けて～
〔2024年1月 於:逗子文化プラザホール〕

「天候にも恵まれ、晴れた空の下でたくさんの方々にダンスを見ていただくことができ、本当に嬉しかったです。」

——第45回逗子市民まつり ダンス部・クリーン作戦ボランティア
〔2023年10月 於:池子の森自然公園〕



協働 We encourage our students to volunteer in Zushi's society.



地域の方々と密着して、共に手を携えて、穏やかな逗子の街を守りつづけたい。

◀逗子おいしいものMAP ——逗子の「おいしい」を探しましょう

学院生が学校周辺のカフェマップを作りました。地元で愛される名店から大手チェーン店まで、合計21店舗を地図上に配置しイラスト付きで紹介しています。ぜひ、逗子の街をお散歩してみませんか。

逗子ランドマーク

JR横須賀線「逗子」徒歩8分 京浜急行「逗子・葉山」徒歩10分

アクセス詳細

